



発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所
〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486
営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

2020/ 4/5
日曜日

厚別アラ歩き #31 ひばりが丘④ 阿部仁太郎の足跡

厚別中央3条2丁目、国道12号沿いのビル屋上に小さな祠が祀られています。前号ではその祠が阿部仁太郎という人物とのつながりがあることをお伝えしました。阿部仁太郎は明治から大正時代にかけて、厚別の開拓に尽力した人です。彼の足跡を、まず厚別に至る前から紹介します。

仁太郎は1853(嘉永6)年、道南の茂辺地に生まれました。1871(明治4)年、札幌に出て円山村で炭焼き業を営みます。なりわいで得た財を基にして、翌年には豊平村に移ってさらに家業を拡張しました。豊平での功績として第一に挙げられるのは、農業用水路です。明治20年代に平岸から豊平、白石に至る「四箇村連合用水」の開削を主導しました。図1はその設計図面です(注)。これにより、現在の豊平区や白石区の広域にわたって水田稲作の道が開けました。明治時代、札幌の街の発展を支えたのは、近郊農村による食糧生産です。連合用水は当時の大きな産業インフラの一つでした。

仁太郎は指導者としての才覚や人望がありました。円山、豊平の両村で村の総代人を務めたほか、円山では教育所、豊平でも保育所を設けるなど、教育や福祉の面でも尽力します。豊平では郵便局を開き、局長を務めました。前号でお伝えしたとおり、豊平神社(豊平区豊平4条13丁目)も仁太郎が祠を設けたことに由来します。先祖が青森県の出だったことから、津軽の猿賀神社から祭神を分祠しました。阿部仁太郎の足跡は各地で偲ぶことができます。図2は中央区南2条西26丁目に立つ「庚申」碑です。仁太郎の名が刻まれています。図3は豊平神社の境内に立つ「阿部仁太郎之碑」です。藍綬褒章を授与されたことを記念して、1899(明治32)年に建立されました。

(地域史研究者 杉浦正人)

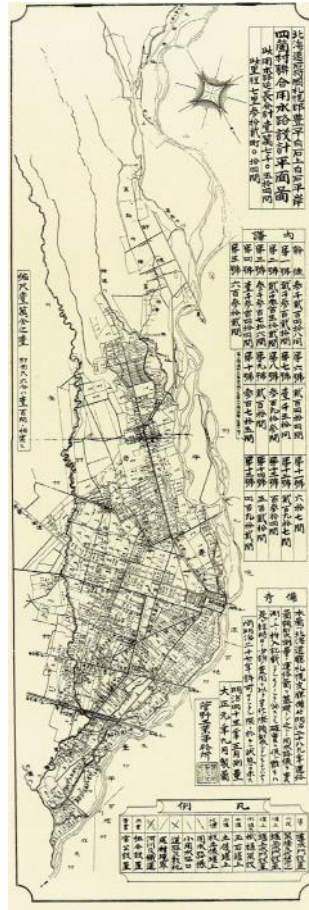


図1：「四箇村連合用水」の設計図面



図2：「庚申」碑(中央区南2条西26丁目)



図3：阿部仁太郎之碑(豊平神社内)

注：札幌市教育委員会『さっぽろ文庫・別冊 札幌歴史地図(明治編)』1978年、p10から転載、原図は1912(大正元)年作製
参考文献：『新札幌市史 第2巻 通史2』1991年、第6編第3章、pp.733-734、『円山百年史』1977年、p.48、p.52、『新聞と人名録にみる明治の札幌』1985年、pp.286-287、『さっぽろ文庫45 札幌の碑』1988年、p.152。『札幌の碑』では仁太郎の出生地が青森県と記されているが、拙文では『新札幌市史』により茂辺地の生まれとする。

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティアみんなで献血へ行こう！



★みなさまの血液は、誰かのいのちに繋がります★
～ A型・O型・AB型の不足に非常に困っています～

～新さっぽろ献血ルームのご案内～

- ◇厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階
- ◇受付時間 ①10:00～13:00 ②14:00～18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。
また、キッズスペースも充実！安心して献血いただけます。

